

アジア政経学会 2013年度第7回理事会 議事録

1. 日時 2013年10月12日(土) 12:30~14:00
2. 会場 早稲田大学早稲田キャンパス 14号館 8階 801会議室
3. 理事・監事総数 25名(理事23名、監事2名)
4. 出席者 24名(理事:磯崎、大橋、梶谷、金子、川島、巖、小嶋、澤田、清水、園田、高橋、高原、竹中、田村、永井、中溝、平岩、松田、丸川、三重野、山田、山本、渡邊、監事:滝口、佐藤)
5. 議長 竹中理事長

6. 議事

(ア) 12時41分に竹中千春理事長が議長席に着き、開会を宣言、総務担当・川島真理事から、本日の欠席者が1名にて、定足数12名以上を満たしているため、本理事会は有効に成立する旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として、丸川氏、川島氏の二名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後、議案の審議に入った。

(イ) 前回(2013年9月11日)の理事会議事録の確認をおこなった。

◆ 議案1 東日本大会の開催状況について [山田]

山田理事より、アジア政経学会2013年度東日本大会は非会員5名程度を含む130名ほどの参加を得て、順調に開催されていることが報告された。

◆ 議案2 法人関連業務について [竹中・川島]

川島総務担当理事より、目下役員変更に関して法務局に提出する資料を準備していることが報告された。また、委任状の提出が不可能となったことから、従来のWordファイルによる理事会出欠確認を、メールでの出欠確認に変更することが提案され、承認された。

また、竹中理事長より、法人化業務について、金子理事・澤田理事に今後も支援を依頼したいとの提案があり、承認された。

◆ 議案3 学会名簿について [川島]

川島総務担当理事より、学会員名簿の在庫が払底しており、新規会員に配付できないことから、業者に50部の作成を注文したことが報告された。

また、竹中理事長より、新規の名簿を来年作成し、配付することが確認された。

◆ 議案4 西日本大会について [永井・三重野]

三重野理事より、西日本大会の準備状況について、学会ウェブサイトすでにプログラムが掲載済みであり、プログラムは午前中に自由論題と企画分科会、午後は共通論題第一

セッション（アジア政経学会設立 60 周年記念講演）、その後共通論題第二セッションと自由論題の三部構成とすること、また、午前中の分科会の開始時刻を従来より 30 分早い 9 時半とすることが報告された。また、非会員を自由論壇討論者にお招きする予定だが、そのための諸経費を開催校予算からも捻出した上で、学会から 2 万円程度の支出を行う必要があると報告され、承認された。

また、永井理事より、配付資料に基づいて、大会の準備状況が報告された。会場を確保した上で開催案内の作成を行っており、開催教室は PC を使用する場合持ち込みが必要である旨周知する必要があることが報告された。また、国際シンポジウム登壇者のテッサ・モリス・スズキ氏が大会前日に行う講演について、会員にもメールで周知することが提案された。また、国際シンポジウムについて、交通費と同時通訳費用を大阪市立大学で負担するが、アジア政経学会からも支援を求めたいとの要請があった。

これに関し、竹中理事長より、今大会の開催計画を承認した上で、限られた予算の下で効率的な支出を検討し、開催校の競争的な助成金制度に応募してそれを獲得されたという、開催校事務局の大変な努力に鑑み、学会の本年度国際交流予算より、国際シンポジウム費用として 55,000 円を支出すること、また、大会開催費用が予算 40 万円を超過する場合、その措置を次回理事会に提案したいとの提案があり、承認された。また、今後学外者を大会への招待に関する場合のルールを検討することを、次期企画担当理事に依頼された。

◆ 議案 5 2014 年度の大会について

[竹中]

欠席の加茂理事に代わり、竹中理事長から、2014 年度全国大会の準備状況について、加茂理事を責任者として、慶應大学湘南藤沢キャンパスにて 2014 年 6 月 7 日（土）-8 日（日）に開催することを目指し、準備が進められていることが報告された。また、同大会開催時に評議員会の開催を目指すのが、評議員の出席が困難である場合、日時・場所を改めて開催することを検討することが報告された。

また、2014 年度東日本大会については、武田会員を開催校幹事として、防衛大学校で 2014 年 10 月 25 日に開催することが準備されていることが報告された。

一方、2014 年度西日本大会については未定であることが報告され、自薦・他薦を問わず、広く開催校の候補を募集したい旨、提案された。

◆ 議案 6 『アジア研究』の編集状況について

[山本・松田]

山本理事より、『アジア研究』誌は編集委員会が立ち上がっておらず、ここまでに投稿された 4 本の原稿のうち 3 本が書式規定を満たしていないため受理することができなかったため、編集作業が滞っていることが報告された。

また、松田理事より、書評に関しては 2 期分用意できる旨、報告された。他方、書評委員会の結成を現在準備しているものの、現在 3 名が不足していることが報告され、竹中理事長より、早急に委員会を結成し、理事会に報告することが要請された。

また、編集委員会・書評委員会については、地域バランスを考慮した上で一部の会員に過重な負担をかけないように人選を検討すべきであるとの提案がなされた。また、大会分科会の報告者に、報告論文をアジア研究に投稿することを求めるべきであるとの提案がなされた。他方、山本理事からは、自由論題論文に関してはレベルに差があるため、一概に全て掲載することは困難であるという意見も出された。

また、丸川理事より、60周年企画号への掲載のため、全国大会記念シンポジウムの報告の原稿化を進めていることが報告された。また、山田理事より、東日本大会の共通論題について、永井理事より、西日本大会の共通論題について、いずれも原稿化することが報告された。

◆ 議案7 ニュースレターの編集状況について [小嶋]

小嶋理事より、ニュースレター40号が無事発行されたことが報告された。

また、清水理事より、次号から清水理事が担当することと、東日本大会の司会者に原稿依頼を行ったことが報告された。また、巻頭言の執筆者選定について協力の依頼があった。

◆ 議案8 ホームページの更新について [丸川・梶谷]

丸川理事より、10月1日に科学技術振興機構から、J-STAGEへの『アジア研究』の搭載が決定したとの連絡があり、詳しい申込書の準備を進め、必要な研修を受けて作業に入ることが報告された。また、『アジア研究』のページにヘッダー・カバー画像を掲載することが可能であり、業者への依頼を検討中であることが報告された。

梶谷理事より、「学会ホームページ英語化について」に基づいて報告があり、本件については加茂理事と共同で検討したが、英語化は大変な労力とコストを要することから、英語化の目的を検討する必要があるとの提案がなされた。これについて、竹中理事長より、本件はアジア政経学会の存在意義そのものを問うべき重要な問題であるところ、梶谷理事・加茂理事・田村理事で引き続き検討を進め、提案するよう要請がなされた。また、本件の経緯について、事務局への英語での問い合わせが多く、対応しきれないとの連絡があったことが英語化検討の発端であることが指摘された。

◆ 議案9 定例研究会について [巖・磯崎]

巖理事より、「アジア政経学会・定例研究会のガイドライン（2013～2015年）案」に基づいて報告があり、同資料の末尾に、さらに「定例研究会での報告内容は、全国大会・東日本大会・西日本大会でも報告できる」と明記することが提案され、承認された。

また、12月・2月理事会開催前に研究会を開催すること、来年度は3回の開催を目指すことが報告された。

◆ 議案10 入・退会者について [山本]〈資料 理9〉

川島理事より、回覧資料に基づいて、入会申請者 7 名、復会申請者なし、再入会申請者なし、休会者名、退会者名、逝去会員はなしという報告がなされた。このうち、入会申請者 1 名については紹介者が得られていない状態であるため、入会資格などを十分確認した上で入会の可否を決定することとし、残る入会申請者 6 名については入会を承認したいことが報告され、承認された。

◆ その他

・川島理事より、理事会資料について、今後は開催 3 日前までに提出されたものは総務担当理事が対応することが報告された。

・竹中理事長より、11 月韓国で開催される AECF（アジア経済共同体フォーラム）に、丸川理事・梶谷理事・星野会員が参加することが報告された。また、朱建栄会員が中国で拘束されているとの報道があったことが確認され、意見交換が行われた。

以 上

竹中議長が午後 1 時 55 分、閉会を宣言して審議を終了した。

平成 25 年 10 月 12 日
一般財団法人アジア政経学会

議長

_____ 印

議事録署名人（理事）

_____ 印

議事録署名人（理事）

_____ 印

議事録署名人（監事）

_____ 印

議事録署名人（監事）

_____ 印